＼女子生徒等の理工系への進路選択を応援／

RIKOCHALLENGE
リコチャレ 理工チャレンジ

女子中高生・女子学生の皆さんが、将来の自分をしっかりイメージして理工系分野に
進路選択（チャレンジ）することを応援する取組を、内閣府男女共同参画局が中心となって進めています！

日本の理工系分野の現状

日本の研究者に
占める女性の割合

出典：総務省「科学技術研究調査」（令和６年）

専攻分野別に見た
女子学生の割合（学部生）

出典：文部科学省「学校基本調査」（令和６年度）

✦女性の理工系人材が必要です

科学技術・学術分野における**技術革新（イノベーション）の創出には、多様な視点や発想を取り入れることが不可欠**であり、女性研究者・技術者の活躍が期待されています。しかし、特に理工系分野を中心に、女性研究者・技術者の数は低い水準に留まっています。そのため、**理工系分野に対する興味関心や理解を向上させる取組を推進**し、次代を担う女性の理工系人材の育成につなげます。

EVENT
夏のリコチャレ

理工系のお仕事体感しよう！

夏休み期間に、主に女子小中高生を対象として実施する企業・大学・学術団体等のイベント※を取りまとめて発信しています。
【共催：内閣府、文部科学省、経団連】

※職場見学、工場見学、職業体験、実験教室、女性社員との交流、シンポジウム等

2024年開催実績 119団体 228イベント 約6,900名が参加

●夏のリコチャレ以外にも、通年でイベントを発信しています

WEBSITE
リコチャレウェブサイト

理工チャレンジ
（リコチャレ）サイトはこちら

https://www.gender.go.jp/c-challenge/

リコチャレ応援団体・理工系女子応援ネットワーク

理工チャレンジの取組は、趣旨に賛同する産・学・官の団体が連携して進めています。

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に
賛同する大学・企業・学術団体等

約 930 団体

理工系女子応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、
具体的な取組・活動を行っている団体

約 230 団体

理工系女子応援ネットワーク会議

- 理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- 取組に関する情報共有を通じて相互連携を強化

STEM Girls Ambassadors

女子生徒等が、STEM 関連分野に興味関心を持ち、理工系分野への進路を自分自身の選択の一つとして前向きに捉えることを推進するため、2018 年 6 月、「STEM Girls Ambassadors（理工系女子応援大使）」が立ち上げられました。

SYMPOSIUM シンポジウム

- 有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- 関係団体と連携して開催するなど、社会の理解を促進

諸外国の研究者に占める女性割合

諸外国の研究者に占める女性割合は30%を超える国が増えてきており、それと比較すると日本は低い水準に留まっています。

（備考）
1. 総務省「科学技術研究調査」（令和６年）, OECD “Main Science and Technology Indicators”, 米国国立科学財団（National Science Foundation：NSF） “Science and Engineering Indicators” より作成
2. 日本の数値は、2024（令和６）年３月31日現在の値。アメリカ、イギリスは2019（令和元）年値。その他の国は、2021年（令和3）年値。推定値及び暫定値含む。
3. アメリカの数値は、雇用されている科学者（Scientists）における女性の割合（人文科学の一部及び社会科学を含む。）

※ 数値は2025年１月８日確認時点

RIKOCHALLENGE
リコチャレ 理工チャレンジ